

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	口腔保健センター補助事業			事業番号	011-175
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療政策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③健康を支える地域社会の形成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		寄与するKPI	無	取組	—	ターゲット	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 2 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	歯科口腔保健の推進に関する法律、堺市歯科口腔保健推進条例、堺市口腔保健センター運営補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	一般社団法人 堺市歯科医師会	対象数	1	単位 団体
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民啓発を行い、市民の生涯にわたる歯の健康づくりの意識を向上する。 障害者歯科診療を行い、障害等で通院による歯科診療が困難な市民への歯科診療の機会を確保する。 歯科衛生士を養成し、市内歯科診療所等における歯科衛生士の量的・質的確保を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における包括的な歯科口腔保健医療を推進するため、「治療（障害者歯科診療所）」「啓発（市民啓発室）」「養成（歯科衛生士専門学校）」の機能を備えた口腔保健センターへの運営補助を実施。 ・なお、歯科衛生士専門学校の合計定員は120人（学年定員40人）、修業年限は3年間である。 			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 堺市歯科医師会			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	歯科衛生士専門学校の卒業生の市内就職率	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	70	70	70	70
			実績値	80	52		
達成率	114%	74%					
	当該指標を選定した理由	市内歯科診療所の人材確保に寄与することを目標とするため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市内就職率の分母は当該年度の卒業生（進学者等を除く）。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	障害者歯科診療受診者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	2,100	2,300	2,100	
			実績値	2,213	2,075		
達成率	105%	90%					
	当該指標を選定した理由	一般の歯科診療所では治療が難しい障害者の歯科診療を確保するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	実績値を踏まえて設定。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	口腔保健センター補助事業	事業番号	011-175
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	47,940	47,940	47,940	47,940	47,940
13 財源内訳	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他 ()	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0
	一般財源	47,940	47,940	47,940	47,940
14 人件費 (b)	820	820	820	820	810
15 年間経費(c)=(a)+(b)	48,760	48,760	48,760	48,760	48,750

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	堺市口腔保健センター運営補助金	決算	47,940	47,940		R4	決算	
		予算	47,940	47,940		R5	予算	
		決算				R4	決算	
		予算				R5	予算	
		決算				R4	決算	
		予算				R5	予算	
		決算				R4	決算	
		予算				R5	予算	
		決算				R4	決算	
		予算				R5	予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 障害者歯科診療受診者数	人	2,213	2,075
② 上記①にかかる年間経費	千円	17,850	17,850
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	8,066	8,602
備考 (算出についての説明等)		障害者歯科診療に要する歯科医師報酬や医薬材料費等	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 前年度と比較し、堺歯科衛生士専門学校の卒業生における市内就職率や障害者歯科診療の受診者数は減少している。前者については、求職数が多いことから、時間をかけて就職先である歯科診療所を決める傾向が出てきており、現時点で未就職の卒業生が多くなっているが、その多くは市内での就職を希望し就職活動を行っているため、今後卒業生の市内就職率は上がることが予想される。後者については、診療日数が前年度よりも少なかったことによるものと考えられる。

堺歯科衛生士専門学校や障害者歯科診療の運営等について、市内診療所等とのネットワークや専門的知見を有する堺市歯科医師会が行うことで、事業目的の達成に向け、より効果的・効率的に取り組むことができている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 ・市民の命や健康を守るため、市内の医療提供体制を維持しなければならないが、特に障害者の歯科診療は患者とのコミュニケーションが困難であるほか、不随意運動のため姿勢の維持や開口の動作ができないなど、一般の歯科診療所では困難な場合もある。

・堺市歯科医師会が運営する障害者歯科診療所では、専門的知見や経験を有するスタッフや機材を揃え、そのような場合でも安心して診療できる機会を確保している。

・また、高齢化の進展に伴い、今後歯科診療所における患者数の増加が見込まれている中、堺歯科衛生士専門学校では、堺市重度障害者歯科診療所等を実習先に組み込むなど、障害者歯科診療に従事できる人材育成にも力を入れながら、市内歯科診療所等における歯科衛生士の確保に取り組んでいる。

・その他、これまでの市民啓発室での取組に加えて、WEBによる動画配信を行うなど、市民の口腔の健康に対する意識向上にも取り組んでいる。

・一般の歯科診療所では治療が困難である障害者の受診機会を確保し、また市内歯科診療所等における歯科衛生士を確保することで、医療提供体制の維持につながっているほか、市民の口腔の健康への意識向上を図ることにより、健康を支える地域社会の形成に寄与している。